

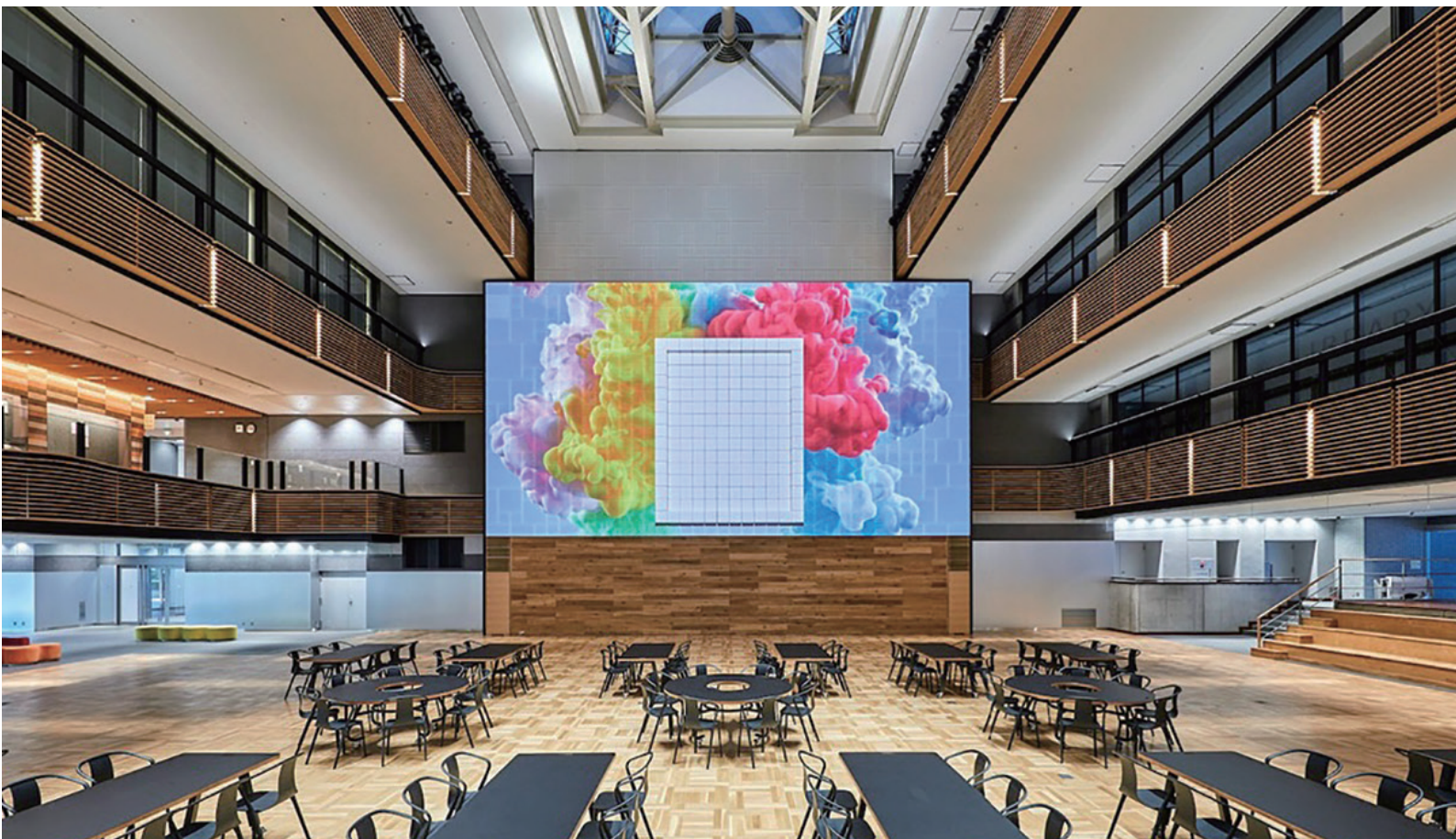
Kogakuin University Alumni Association 2023

一般社団法人工学院大学校友会

KOYUKAI

校友会報 2023 vol.144

発行:一般社団法人工学院大学校友会 〒163-8677 東京都新宿区西新宿1-24-2 TEL.03-3342-2064



<https://www.kogakuin-koyukai.jp/>

ご挨拶 2023

校友の皆様には、校友会活動への理解とご協力を賜り、心よりお礼申し上げます。校友会は校友同士が情報交換できる交流の場を設け、校友の方々の更なる発展に貢献することが大切な目的の一つです。

【校友同志交流】

①これまで3年前から続きました、新型コロナウイルスの影響で一番大事な校友同士の交流の場を自粛してまいりましたが、昨年2022年の後半からコロナの回復の兆しが見え始めましたので、2年延期しておりました第19回校友会全国大会の大分大会を別府にて、大分県支部のご尽力のおかげで11月12日・13日に開催することができました。

②12月10日には、学園主催のホームカミングフェスが開催され、大勢の校友が集まり、リニューアルされた1階アトリウムにて、学生の皆様に歓迎していただきました。吹奏楽部の演奏・ソーラーチーム紹介や屋台村を楽しみながら対面で久しぶりの母校を、楽しむことができました。

③年を明けて1月8日は「新春の集い2023」を同窓会組織部の企画でエステック情報ビルの4階レストランで開催いたしました。久しぶりの学友や先輩・後輩との交流で盛り上がりしました。

この3つの集まりは、久しぶり対面で大盛況の校友交流の場となり、校友会の目的がかなえられ

ました。来年2024年11月9日・10日に開催予定の、第20回校友会全国大会の高知大会への期待が参加者から多く寄せられています。

【嬉しいニュース】

①令和4年の秋の叙勲において、川崎 功氏（1961年機械工学科卒 空手道部OB）が旭日双光章の栄誉を受けられました。日本空手協会や静岡県空手道連盟などの団体役員を歴任されてのスポーツ振興功労による叙勲となりました。

②令和4年秋の褒章において、磯 三男氏（1962年電気工学科卒）が緑綬褒章を受章されました。エネルギー分野での専門知識を活用した長年にわたる環境保全活動実績による功労が認められての受賞となりました。

③学園創立135周年式典（2022年10月31日）に於きまして、工学院大学を卒業して活躍されている女性の中から、1970年建築学科卒業の岩瀬栄子様と、2017年情報学部コンピュータ科学科卒業の惟村恵里様の二人が「女性躍進賞」を受賞されました。更なるご活躍を期待いたします。

【校友会報誌の電子化】

校友会報は従来の紙の冊子の会誌から、校友会ホームページからパソコンやスマートフォンで見ることの出来る電子版の会誌へとリニューアルいたしました。今後とも会員の皆様がいいつでも読みやすく、様々な情報に繋がりの会誌へとなるように取り組んでまいります。

【来年は校友会設立125周年】

学校法人工学院大学の前身である工手学校は1887年（明治20年）に創立され、昨年の10月31日に創立135周年を迎えました。校友会のルーツは、124年前1899年（明治32年）の「工手学校同窓会」発足が始まりです。来年の5月14日には一般社団法人工学院大学校友会は、設立125周年を迎えます。これから「工学院大学校友会125周年記念誌」の発刊に取り組みます。



一般社団法人 工学院大学校友会
会長 田野邊 幸裕

新中期計画の策定

大学、大学院及び附属中高の諸活動に日頃より多大な支援をたまり、御礼申し上げます。

2023 年は、本学園の中期計画「コンパス 2023」の最終年にあたります。学園では、中期計画の目標達成状況を確認し、今後に向けた改善点を探る必要があります。そして、それをもとに、新たな中期計画の策定に着手する年ということになります。本学園の中期計画は、6 年間の計画を定める（中間にあたる 3 年修了時に修正）ことを通例としています。既に、新しい中期計画に引き継ぐべき課題として、クラウドキャンパス（仮称）の設立やダイバーシティ（男女共同参画を含む）の取り組み強化等がありますが、学内各部署はもちろん校友会をはじめとする関係機関からも、学園の将来に向けて積極的な提案や意見をお寄せいただければと考えております。

なお、2023 年 5 月末に任期更新にともない新理事会が発足するので、新中期計画は新理事会の下で議論されることになります。



学校法人工学院大学 理事長
後藤 治

変わり続ける 新宿キャンパスに ご注目ください。

新型コロナは 2023 年 5 月 8 日から第 5 類の感染症になりますが、本質が変わるわけではありません。密に気を付けてウィズコロナの生活を送りたいと思います。ICT を利用した時間割は学生達に生活のゆとりをもたらしています。学外活動の制限なども緩和されることで、学生たちはさらに伸びやかな生活を楽しめます。

新宿キャンパス地下一階に限っていた出入りも、2020 年に生まれ変わった 1 階アトリウムからも可能になりました。図書館は機能を電子化し、さらにメディア情報を加えた本学の目玉施設・学術情報センター「工手の泉」として生まれ変わりました。併設された建築設計授業スペース・デジタルツインラボは壁一面のディスプレイで実物大での建築構造物を疑似体験できる教室です。変わり続ける工学院大学にご期待ください。



工学院大学 学長
伊藤 慎一郎

校友会や大学と 連携して中高の 魅力が増進

附属中高は、2022 年に志願者を約 5 割増やしましたが、2023 年はさらに約 3 割増やしました。これは、生徒のみなさんが目標に向かってがんばっている姿やそれをサポートする教職員の姿が、受験生やその保護者に認識された結果だと思っています。

大学は、新宿と八王子というツインキャンパスを持つメリットを最大限に生かして大きく魅力を増進させようとしています。世の中に大学附属校は多数あれど、本校のように大学キャンパスの中にある学校は少数で、さらに、中高大院が密に連携できている工学院のような素晴らしい事例は極めて稀です。

附属中高が魅力的なのは、生徒や教職員と、中高をご支援いただく大学や校友会などの存在があるからだと考えています。今後ともご支援賜りますようよろしくお願い申し上げます。



工学院大学附属中学校・高等学校 校長
中野 由章



Event Report

イベント報告

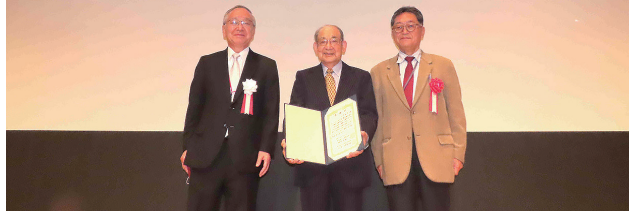
📍 全国大会 大分大会

第 19 回一般社団法人工学院大学校友会全国大会 大分大会が 2 年 2 度の延期となつて 2022 年 11 月 12 日(土)、別府国際コンベンションセンター(ビーコンプラザ)に 145 名(校友 116 名、同伴者 22 名、来賓 7 名)が集まり盛大に執り行われました。

式典では本大会実行副委員長の吉賀攝氏の挨拶に始まり、来賓の挨拶、記念講演として別府ならではの「九州電力グループの地熱発電の取り組みについて」。そして蔵より発見され、ご家族から工学院大学へ寄贈された、工手学校 1 期生、明治 22 年(1889 年)卒業の敷田熊太氏の土木学科卒業証(※1)の披露、並びにご家族より工学院大学へ寄贈されました。初めて見る第 1 期生の卒業証はとても綺麗な状態で、九州から上京し勉学に励まれた先輩の存在は心を打つものがありました。

式典の最後は大分県立由布高等学校 郷土芸能部による若く躍動感のある庄内神楽で厳かに締められました。

※1 卒業証は当時の卒業証書を表します。



その後、催された祝賀会では、郷土舞踊、だんご汁などの郷土料理、地酒そして、大分県の皆様の温かみのある和やかな雰囲気での華やかな祝賀会となりました。初参加の方も多くいらっしゃいましたが、地元に戻った先生、先輩や旧友たちとの再会は一瞬で大学時代に戻ったかのような感じでした。

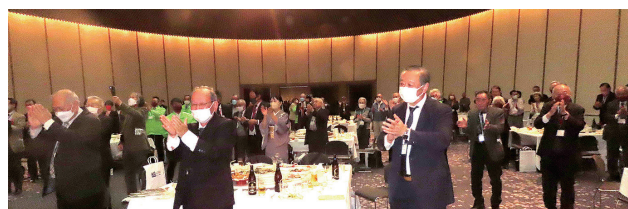


翌 13 日(日)のオプションツアー(八丁原地熱発電コース、地獄めぐりコース)にも多数の参加があり、皆様心から楽しまれたようです。



今回の大分大会に初参加して思ったことは、この素晴らしい大会をまだ参加されたことの無い校友にも知って頂き、この交流の輪を大きく広げ、工学院大学校友会の歴史そして未来を共有したいと心から感じました。

次回の全国大会は来年(令和 6 年、2024 年)11 月 9 日(土)、10 日(日)高知大会となります。お誘い合わせの上、多数ご参加されることを願っております。



📍 新春の集い 2023

2023年1月8日に「新春の集い 2023」が、コロナ禍の影響で2度の中止となり、3年ぶりに学園関係者を来賓にお招きし、対面の形で147名もの校友・学園関係者が新宿キャンパス隣の新宿エステック情報ビル Y'S に集まり開催しました。

開始までの間、会場には「映像で迎える工学院大学135年の軌跡」が上映され、同窓会組織部久保さんの流暢な司会進行で開会宣言がなされ映像による校歌・学園歌斉唱でスタートしました。

その後、校友会田野邊会長挨拶の後、工学院大学後藤理事長から祝辞を頂き、乾杯が工学院大学伊藤学長の御発声で行われ、和やかに歓談に入りました。



2022年11月に開催された校友会全国大会 大分大会のお礼の辞が渡邊実行委員長より述べられ、2024年11月9日、10日に開催される高知大会の紹介が長崎委員長より行われました。

恒例の「お楽しみ抽選会」では、今回はロボット掃除機、スマートウォッチなどの豪華景品に加えコーヒーマーカーや防災ラジオなど多彩な景品を準備し、会場を盛り上げました。



歓談の中、特別ステージが初出演となる絹田キヨナシナさんの美しい歌声と相良浩司さんのギター演奏が賑やかに披露され会場全体が一気に盛り上がり皆さん熱心に鑑賞されました。終演時には会場から大拍手が沸き上がりました。



閉会の辞が、同窓会組織部 宮木部長により行われ終演となりました。

終わりにこの集いに参加いただいた学校関係者の皆様、景品や寄付をいただいた支部、同窓会、個人の皆様に心よりお礼申し上げます。





学園

大学の軌跡をサイトとイベントで紹介

学園創立 135 年となる 2022 年は、学園の歴史と社会的意義を見つめる展示やイベントを開催しました。

ホームページに掲載中の「工学院大学ヒストリー」は、第 3 章を追記。社会の趨勢にあわせて大学が発展する様子が感じられるページとなりました。

新宿キャンパスの地下 1 階では、創立 135 周年記念展示を開始。制作は、建築系学生プロジェクト WA-K.pro(ワークプロ) と空間デザインのプロ株式会社博展が協働で行いました。

アトリウムで開催した、東京経済大学とトークセッション(2022 年 10 月 25 日および 2023 年 2 月 17 日)では、創立に関わったメンバーの心意気や社会からの期待と貢献、これからの工学のありかたを振り返りました。「学園の誇りを改めて感じた」といった感想を多くの卒業生からいただいています。



大学

学園祭や体育祭が3年ぶりにキャンパスで開催されるなど、賑やかなキャンパスが戻りつつあります。

コロナ禍を通して培った経験をプラスに活かした授業改革が、2022 年 4 月から展開されました。1 時限目と 6 時限目は全てオンラインのオンデマンド授業とし、対面の実験・実習・演習授業は、曜日や時限を集中して実施することで、通勤ラッシュを避けて、自分のスケジュールに合った時間帯を有効に活かせるようになりました。学びや創造活動に積極的で好奇

心旺盛、真摯な姿勢で何事にも取り組む学生にあふれるキャンパスを目指します。

建築学部では、2022 年秋から分野横断型デジタル教育がスタートし、建築・都市産業の DX に貢献する人材の育成を始めました。同事業は、文部科学省「デジタルと専門分野の掛け合わせによる産業 DX をけん引する高度専門人材育成事業」の採択を受け、最新の設備が導入されました。

学生プロジェクト、各分野で躍動

2022 年は、ようやく大会などが開催され、学生たちは大いに活躍しました。各分野の甲子園に相当する大会に出場が決まると、校友会からは必勝祈願のお札をいただき、校友の激励を胸に出場しました。

■みつばちプロジェクト、SCP (Science Create Project)

2 団体がタッグを組み、KUTE Honey シリーズ第 3 弾となるハンドソープを限定販売しました。2022 年度は京王聖蹟桜ヶ丘ショッピングセンターで 8 月と 12 月にこれまでに開発したハンドクリームや入浴料とともに期間限定販売。SCP は同会場でふわふわスライム作りのブースを開設し、盛り上げました。

2023 年春には、ハチミツ入りビール造りのプロジェクトを始動します。続報は大学ホームページや SNS をご覧ください。



■工学院大学ソーラーチーム

8 月 8-11 日に秋田県大湯村で行われたソーラーカーレース「ワールド・グリーン・チャレンジ」で準優勝しました。11 月に東京たま未来メッセで開催された「八王子ものづくり EXPO2022」には 4 号機 Wing を出展し、バーチャルドライブ体験で多くの来場者に技術をアピールしました。自動車部(附属中高)のサポートは 2 年目を迎え、若い世代で知識の定着と技術の向上を切磋しています。翌 12 月には、「八

王子市民フォーラム・未来を語る ゼロカーボンシティの実現に向けて」にチームの大学院生と自動車部の高校生が登壇し、脱炭素社会の実現に向けた意識の醸成に協力しました。

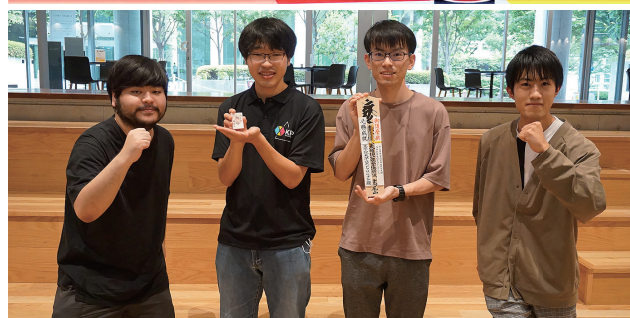
2023 年 10 月にオーストラリアで開催される世界大会参戦に向けて、新車両の開発を進めています。



■KRP (Kogakuin Robot Project)

2021 年に続き、2022 年も NHK ロボコンに出場し、2 年連続で東京エレクトロン株式会社による特別賞を受賞しました。2 台のロボット間でボールを移動させ、相手ロボット頭上のボールを落とす競技で、ボールをパスして確実に渡すユニークな手法が評価されました。大会のダイジェストは、NHK から 7 月 18 日に放映されました。

KRP は、すでに 2023 年大会の第 1 次審査を通過し、機体製作に注力しています。



■フォーミュラプロジェクト (Kogakuin Racing Team)

9 月 6 日～10 日に開催された学生フォーミュラ日本大会 2022 で、KRT は総合 7 位に入りました。9 年ぶりに全種目を完走し、チームの歴代最高順位を更新しました。校友会の名前も刻まれたマシンで悪天候も乗り越え、大きな飛躍を遂げました。その活躍は、主催者サイトのレポートで取り上げられました。



附属中学校・高等学校

3 年ぶりに強歩大会や海外短期留学が開催される、夢工祭に予約制ながら一般の方も来場いただくなど、附属中学校・高等学校においても対面での開催が増えた一年でした。一方で、オンラインでの海外交流も継続され、効果を重視した教育に発展しています。様々な取り組みが評価され、受験生は中学・高校共に増えています。

■自動車部、白浜 ECO-CAR チャレンジで第 3 位

自動車部は、9 月 23 日から 24 日にかけて旧白浜空港特設会場（和歌山県西牟婁郡白浜町）で開催された「白浜 ECO-CAR チャレンジ」に参戦し、エキスパートクラスで第 3 位に入賞しました。社会人や大学生、高専生からなるソーラーカーチームに交じり、他クラスを含む総合でも 3 位に入る健闘を見せました。



機械系同窓会 活動紹介



機械系同窓会

会長 植木 幸裕

会長挨拶

当同窓会では、校友会活動を通じて校友のみならず、教職員や学生さん達との連携・交流を図り、お互いの技術、情報、人脈を活用し合えるような「場」でありたいと願って活動しています。特に若い方々には積極的に参加して頂き、仕事にも役立つ校友会にご期待下さい。

活動報告

恒例の「報告会兼意見交換会」、「活躍する OB の報告会」、「秋の集い」、「ききかい機機械会」は全てオンライン開催で、参加者も首都圏中心から遠方の方々まで幅広く参加頂けるようになりました。

①活躍する OB の報告会：毎年夏頃、仕事面に限定せず、趣味を含めた様々な方面で活躍されている OB の方にご講演頂くイベントで、昨夏は「私のスローライフ：甲州庵だより」を開催、17 回目の 2023 年度は 8 月に開催する予定です。

②秋の集い：4 学生プロジェクト活動報告の発表を中心に学生との交流を深めた集いでした。

③機機械会：機械系教職員・学生との連携・交流を目的とし、年 2 回開催しており、2022 年度は機械工学科の菱田博俊准教授と、同じく機械工学科の西谷要介教授に講師をお願いしました。講演後は、研究内容に対する質問は勿論のこと、講演内容と全く関係ないことの質問も許される奇々怪々な交流会です。

化学系同窓会 活動紹介



化学系同窓会

会長 志村 豊

会長挨拶

生命化学科、応用化学科、環境化学科、及び大学院化学応用学専攻で学ぶ学生諸君を支援する為に、教員の先生方と同窓会会員の皆様方と協力して、学習支援や就職支援など各種支援活動を推進していきたいと存じます。

活動報告

化学系同窓会の学生支援事業に、TOEIC の取得 SCOER による表彰として「英語応援賞」があります。ENTRY は、化学系各学科（生命化学科、応用化学科、環境化学科）の先生方をお願いしております。2021 年度の実績者 10 名の皆様には、2022 年度に表彰状と副賞を授与いたしました。おめでとうございます。本年度も多くのご学生諸君からの ENTRY を期待しています。

また、就職支援課と相談しながら、応用化学科の学生を対象に、卒業生が勤めている企業の人事担当者に来校してもらい「企業説明会」を開催いたしました。（4 月と 1 月の 2 回）その他、各学科でのスポーツ大会の開催支援を行いました。今後、科学教室が再開されましたら、卒業生と学生諸君が一緒になって子供向け化学実験が出来る様にと期待しております。

電気系同窓会 活動紹介



電気系同窓会

会長 島林 正美

会長挨拶

当同窓会の使命は、校友や学生をつなげ支えることです。会報「隆星」発行、学生の資格取得支援、インターンシップ報告会優秀者表彰、院生の優秀論文表彰などでサポートしています。今後も仲間達を力強く応援します。

活動報告

当同窓会は、6 学科及び大学院の同窓生で構成され、2023 年 1 月 27 日現在、15,050 名が社会の各分野で活躍しています。主な活動は、

①資格取得報償制度：資格試験に合格した場合、報奨金を授与するものです。今年度は 33 名に授与し累計で 231 名になりました。

②インターンシップ報告会優秀者表彰：大学のインターンシップ利用者の報告を聴講し、優秀な学生を表彰します。4 年度は 4 名でした。

③院生優秀論文表彰：院生の優秀な論文に対して、応援するため令和 3 年度に創設した制度で、4 年度は 1 名でした。

他にも、学生の就職支援活動等も着実に継続しています。

今後も学生との連携を強化しつつ、力強く支える同窓会を目指して活動を進めます。

建築系同窓会 活動紹介



建築系同窓会
会長 高木 雅行

会長挨拶

同窓会ホームページが新しくなり、多くのお方にご覧いただけたかと思います。コロナ禍も完全には終息しておりませんが、今後は対面での会合や、行事を再開して行きます。ぜひご参加いただけますようお願いいたします。

活動報告

昨年より、同窓会誌 NICHE は電子版にリニューアルいたしました。ご覧頂いた読者の皆様方のご意見をどうぞお寄せください。今後も新たな編集方針も加え卒業生の活躍を中心にご紹介して行きます。また、新設した同窓会賞は卒業制作の優秀者を表彰するに加え、卒業論文に対しても表彰を行う事といたしました。故武藤章先生設計の工学院大学白樺湖学寮は今年修繕工事を実施いたします。「白樺湖夏の家」は大学より引き継ぎ、減築・整備し日本建築家協会から JIA25 年賞を授与されました。今後もその価値にふさわしい利用方法や、セミナーなどを増やして行きます。

新ホームページに加え、Facebook の NICHE もスタートしました。ぜひご利用ください。

同窓会ホームページ：<https://niche-alumni.com>

NICHE Facebook：<https://www.facebook.com/niche.kogakuin>

附属高等学校同窓会 活動紹介



附属高等学校同窓会
会長 岸 和浩

会長挨拶

日頃は校友の皆様からご支援・ご協力をいただき、誠にありがとうございます。コロナ禍が続き対面でのイベントが制限される中、オンラインでのコミュニケーションツールを活用し、幅広い会員層の交流・情報提供に努力いたします。

活動報告

コロナ禍が長引き、今期も「ホームカミングパーティー」（5月、八王子）と「おもいで Cafe」（9月、夢工祭）を開催できませんでした。本会の運営は報告会・意見交換会（5月）や定例役員会を zoom オンライン開催とし、報告・連絡・相談事項等は役員メーリングリストを適時活用いたしました。今期から校友会西東京支部との企画連携を特別事業と位置づけ、校友が楽しみつつ高校の生徒・部活動を応援することができました。また、本会員が校友会「大分大会」へ参加して校友と親睦を深めることができ、支部組織部および大会事務局の皆様へ感謝いたしております。なお、年間活動をまとめた会報「夢広場」は今号も印刷物として配布いたします。

専門学校同窓会 活動紹介



専門学校同窓会
会長 平山 徹夫

会長挨拶

専門学校は、2009年に廃校になりましたが卒業生全員、益々意気軒昂、結束を高めております。少しも他人のために生きないものは、ほとんど自分のためにも生きていない。HONEST ENDEAVOR よろしくお願い申し上げます。

活動報告

With コロナ時代に合わせ会員がなるべく集えるような機会を毎月、実施しております。

①(リモート) 情報交換会

スモールトークの場です。各自の近況報告、勤務する業界の動向、コロナ禍の取り組み方、花粉症対策など気軽に話し合う場です。また、近隣支部、HCF や新春の集い等に積極的に参加しております。

②英会話教室

以前は、新宿のキャンパスで行っていましたが、現在はリモートで続けております。音読中心ですが、(継続は力) レベルも上がっています。

この二つの会により、休眠会員の掘り起こし効果！がでてきました。

コロナ感染者も減少してきましたので、更なる活発な活動（見学会・研修旅行）を計画しております。

総務部

部長 小澤 和重

副部長／植木 幸裕、島林 正美
部 員／一柳 裕昭、片原 陽児
森田 保、久禮 和彦
小口 俊明、井上 博明

総務部は、原則として月1回の定例会の他に、社員総会時や集中審議の必要性がある場合に臨時部会を開催して活動をしています。主な業務は、各種規則の制定や定款・規則類の改正に関すること、社員総会開催に関すること、校友会の事業計画に関すること、他部に属さない事項等多岐にわたっています。2022年度は、コロナ禍が続く状況下における社員総会の zoom オンライン開催実施及び事業活動を行うための定款及び諸規則改定などを手がけました。また、地方支部や各同窓会、各部会で IT 利用（例えばリモート会議開催のためのシステムセットアップ等）をサポートするチームの立ち上げ、実施案作成を行いました。今後、我が校友会が校友のための魅力ある組織となるよう、部員一丸となって活動してまいりますので、ご協力をお願いいたします。

財務部は、学園に継続的に寄附を行う健全な財務体質を目指して、四半期ごとの決算書において、校友会の財産が適正に経理処理されていることの確認が主な業務です。2022年度は各部による学園への貢献事業を助成する目的で昨年同様挑戦的な予算を組みました。その結果、大分での全国大会と新春の集いを規模縮小ながらも対面で行うことができました。

校友会員は終身会員ですが、維持協定会費納付へのご協力をお願いしております。イベントの復活により納入率はやや向上しましたが、コロナ前までは戻っておりません。皆様には維持協定会費納付及び預金口座振替サービスへのご登録のご協力をお願い致します。

財務部

部長 佐藤 弘規

副部長／川島 久宜
部 員／小川 文夫、川島あゆみ
原 貴子、広田 慶孝
駒崎 健一

広報部

部長 高木 雅行

副部長／平山 徹夫
部 員／坂口 教子、浅利 信博
名取 勝敏、安宅 恵理
甘粕 一彦、新海 俊一
田中 元樹

広報部は、1. 校友会報の発行 2. 校友会ホームページの更新、管理を主な活動としております。加えて会誌連携に関する意見聴取、支部掲示板サイトを再構築いたしました。

①校友会報の発行

同窓会の活動報告や事務報告を中心とする会報といたしました。一方で各同窓会誌の編集ご担当者の皆様からの会誌連携に対する意見聴取を部の枠を超えて行いました。

②校友会ホームページの更新、管理

校友会や学園のイベント等会員の皆様の様々な活動を紹介しております。再構築した支部掲示板サイトは 22 支部の皆様にご活用いただき 500 ビュー / 月の閲覧・ご利用頂きました。

同窓会組織部は、新春の集いの企画・運営、学術講演会の企画・開催、各種交流活動への支援などの活動を行っています。

校友が集う機会が失われるなか、校友会員交流会「校友の絆をつなぐ会」を 8 月 27 日（土）に工学院大学准教授 桂良寛先生をお招きし、『健康』をテーマに健康寿命の大切さの講演と筋肉量の維持向上を目指す「エキセントリック体操」の実践指導をいただきました。当初は対面による開催を予定でしたが、コロナ禍の影響により Web 会議の仕組みを利用しリモートによる開催としました。リモート開催により遠方の皆様にもご参加を頂くことができました。校友会が主催する「新春の集い 2023」は、1 月 8 日（日）に 3 年ぶりの対面により、学外に場所を借りて開催しました。

同窓会組織部

部長 宮木 義雄

副部長／内野 正之
部 員／久保 直紀、小野寺 康
唐崎 幸弘、吉田 立
田中 元樹、山本 進
近藤 松男
アドバイザー／鄭 雄飛

支部組織部

部長 湯尾 慶一

副部長／櫻井 良尚
部 員／横田 仁、三田 一男
小野寺 康、中里 利男
小林 将夫、岡安 彰
荒井 翔平

支部組織部は各地域支部の活性化を目的に活動を行っています。

①新潟、岐阜、三重、岡山、徳島、愛媛、台湾の 7 支部の設立を活動中です。このうち愛媛県支部を立上げする事が出来ました。未設立支部の校友のご連絡をお待ちしております。

②大分での全国大会を 2022 年 11 月 12～13 日に実施致しました。次回の大会は高知県で、2024 年 11 月 9～10 日で実施予定です。（支部組織部がサポートを実施しています）

③全国支部長会はネット会議形式で開催しています。ネット会議の運営等もだいぶ慣れてきました。2023 年度の全国支部長会議は 1 月にネット会議で実施予定です。

学園連携部の主たる活動目的は、学園の諸事業及び学園に属する生徒と学生諸君の諸活動に対する支援です。新型コロナ禍で、学園主催行事が縮小や中止となり、学園連携部の支援活動も停止や延期をせざるを得ない状態が一昨年度から続いておりますが、その中でも活動しております支援項目について報告します。

①学生・生徒への助成金交付事業：成績優秀学生プロジェクトへの支援

②優秀学生・生徒表彰事業：成績優秀者へ表彰と奨励金

③学園グッズのニーズ調査・販売に関わる事業：ゴーフル販売他

④学園主催ホームカミングフェスの開催支援事業

学園連携部

部長 白井 精滋

副部長／小川 隆
部 員／久保 直紀、志村 豊
望月 千尋、高長 秀光
菊川 亘、熊倉 強
青井 瑛、勝谷 尚武
加藤 滋、田中 元樹
篠崎 秀夫
アドバイザー／矢ヶ崎隆義

2023年度校友会主な行事予定

全ての予定は状況により、日程変更・中止になる場合があります。イベントの前には必ず校友会ホームページにてご確認ください。

開催予定日	行事内容	開催場所（変更になる場合があります）
5月27日(土)	全国支部長会	新宿校舎
5月28日(日)	第11回定時社員総会	新宿校舎
1月7日(日)	新春の集い2024	新宿校舎

2022年度 表彰学生・生徒

学校	学部	学科	学年	氏名
工学院大学	大学院	機械工学専攻	2年	矢口 大暉
工学院大学	大学院	化学応用学専攻	1年	上村 葵
工学院大学	大学院	電気・電子工学専攻	1年	徳重 明人
工学院大学	大学院	情報学専攻	2年	高田 盾作
工学院大学	大学院	建築学専攻	2年	向井 菜萌
工学院大学	大学院	システムデザイン専攻	2年	御代川 亮
工学院大学	工学部	機械工学科	2年	中村 燎人
工学院大学	工学部	機械システム工学科	2年	鈴木 彪悟
工学院大学	工学部	電気電子工学科	4年	池田 翔
工学院大学	情報学部	情報通信工学科	4年	中山 誠亜
工学院大学	情報学部	コンピュータ科学科	4年	鈴木 陽晴
工学院大学	情報学部	情報デザイン学科	4年	中田 健太
工学院大学	情報学部	システム数理学科	4年	齋野 龍泰
工学院大学	建築学部	建築学部総合	2年	岩佐 なお
工学院大学	建築学部	建築学部総合	2年	高橋 唯
工学院大学	建築学部	建築学部総合	2年	阿部 夢子
工学院大学	先進工学部	生命化学科	2年	打越 浩平
工学院大学	先進工学部	応用化学科	2年	島本 真衣
工学院大学	先進工学部	環境化学科	2年	平原 広大
工学院大学	先進工学部	応用物理学科	3年	月岡 知里
工学院大学	先進工学部	機械理工学科	2年	谷口 満帆
附属高等学校		文理先進コース	2年	千葉 真翔
附属高等学校		サイエンスコース	3年	落合 涼太
附属高等学校		文理先進コース	3年	岡部 海斗
附属中学校		インターナショナルクラス	2年	鳥生 伶
附属中学校		特進理数クラス	3年	宮野 優香

受賞報告

令和4年度秋の叙勲において、川崎 功氏（機械工学科 1961 年卒 空手道部 OB）が、旭日双光章の栄誉を受けられました。氏は、令和元年にも生涯スポーツ功労者として文部科学大臣賞を受賞されており、このたびも、日本空



手協会や静岡県空手道連盟などの団体役員を歴任されての、スポーツ振興功労による叙勲となりました。

令和4年秋の褒章で、磯 三男氏（電気工学科 1962 年卒）が、緑綬褒章を受章されました。エネルギー分野などの専門知識を活用した長年にわたる環境保全活動実績による功



2022年度工学院大学校友女性躍進賞

工学院大学校友会女性躍進賞は工学院大学を卒業した女性で特に優れた業績・成果をあげた方を学園が表彰するもので、校友女性の社会的な活躍の認知度を高めること、また、工学院大学に在学する女子学生に対する男女共同参画と社会貢献への意欲の滋養を目的とされた賞です。

2022年度は2名が受賞されました。

●岩瀬 栄子さん

1970 年工学院大学工学部建築学科卒業
大学卒業後、企業で長年にわたり実務型技術者として設計管理に携わってこられました。さらに地域社会貢献を目的とした複数の団体で活動されています。

2019 年には工学院大学校友会初の女性支部長となる群馬県支部長に就任されております。

●惟村 恵里さん

2017 年工学院大学情報学部コンピュータ科学科卒業
野村証券入社後、「NOMURA'S BEST PARTNER 2020」に選ばれる等、活躍中、野村証券の新聞広告や facebook にも起用されています。

訃報

謹んでお知らせいたします。 ご冥福をお祈りいたします。

梶野 和己 氏

2023 年 2 月 10 日ご逝去
専門学校建築科 1958 年卒
氏は校友会役員を務められました。

南雲 芳夫 氏

2023 年 2 月 1 日ご逝去
専門学校建築科 1956 年卒
氏は校友会会長を務められました。

関谷 真一 氏

2022 年 8 月 5 日ご逝去
大学院建築学専攻博士課程 1981 年修了。
氏は校友会役員を務めておられました。

舩井 寛一 氏

2022 年 6 月 21 日ご逝去
工学院 造船科 1944 年卒
氏は校友会広島県支部長を務められました。

中島 淳 氏

2022 年 5 月 22 日ご逝去
大学機械工学科 1969 年卒
大学院電気・電子専攻博士課程 2002 年修了
氏は総合研究所特任教授を務めておられました。

宮坂 勝利 氏

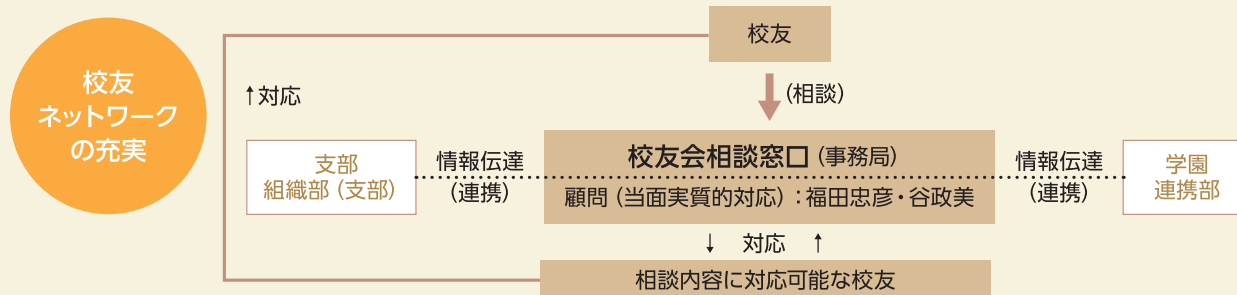
2022 年 5 月 14 日ご逝去
大学機械工学科 1965 年卒
氏は機械系教員を務められました。

■ 校友サポートセンターのご案内

2020年より校友サポートセンターを開設しておりますので、お気軽にご相談ください。

1. 趣 旨 日本全国で活躍している“校友と言う素晴らしい財産”を活かしたネットワークを全国支部と一体になり構築・運営する。
2. 目 的 ●学園の130年余の歴史と伝統を誇りとし、更なる発展を目指して学園と校友会連携による「学生及び校友会員のために、校友会は何かができるか??」に挑戦する。
●相談や支援の要請に対し具体的な成果を上げ“学生や校友から信頼され頼りにされる校友会”を目指す。

校友サポートセンター【情報の流れイメージ】



■ 生涯メールサービス提供のお知らせ

学校法人工学院大学では学園や校友会からのお知らせや利用者間のコミュニケーション手段として2019年3月より生涯メールサービスの提供を開始しております。校友の皆様も申請いただくことによりご利用できます。

対象者

- ・大学・附属中学校高等学校・専門学校の卒業生
- ・大学院の修了生
- ・専任教職員

メールアドレス

メールアドレス1
(ローカルパート)@ g.kogakuin.jp

メールアドレス2
(ローカルパート)@ kute.tokyo

※ 2つのメールアドレスが利用可能ですが、どちらのメールアドレスも同じメールボックスに届きます。
※ ローカルパートは申請時に希望を申し出ていただきますが、先着順となるため重複時は調整となります。

■ 申し込み方法

学園ホームページにある「生涯メール利用案内」をお読みの上、電子メールもしくは郵送にて校友会事務局までお申し込みください。その際、氏名、希望ローカルパート(3つ)、卒業学校(学部学科)、卒業年、本人確認書類(運転免許証、健康保険証など氏名、生年月日、住所記載の公的証明書)のコピー、校友会員番号が必要となります。郵送の場合は送付先の郵便番号、住所、氏名(本人)を記載の上、所定の切手を貼った返送用封筒(長4が望ましい)も同封してください。

■ 学園ホームページ 生涯メール利用案内

https://www.kogakuin.ac.jp/ict_support/

■ 申込み・問合せ先

工学院大学 校友会事務局

E-mail: jimukyoku@kogakuin.or.jp

住所: 〒163-8677 東京都新宿区西新宿1-24-2

■ 校友会報統合について

校友会報と各同窓会誌の連携について昨年より校友会では校友会報と各同窓会誌の統合について各同窓会の編集委員の皆様と議論を重ねてまいりました。

複数回の検討を通して「校友会報と各同窓会誌の1本化の検討・実施」については、「校友会報と各同窓会誌の連携の検討・実施」と事業計画を改め、引き続き各同窓会誌編集委員の皆様と議論を進めてまいります。

同時進行で校友会ホームページのリニューアルも進めておりますので、今後はホームページを有効利用しての会誌連携の検討・実施を進めて参ります。



維持協力会費芳名録

維持協力会費納入者ご芳名

日頃より校友会活動にご理解とご協力を頂き厚く御礼申し上げます。維持協力会費納入の
お願いに際しましても多大なご協力を頂きありがとうございます。

おかげさまで、2023年1月末までに596件2,673,000円のご協力を頂きました。

校友会活動や学園及び学生支援に運用活用しておりますことをご報告申し上げます。

2022年2月～2023年1月までに維持協力会費を納入された方々のお名前を同窓会別、卒業年順に掲載しております。

敬称は省略いたしました。

複数の同窓会所属の方は振込票の会員番号の同窓会に掲載いたしました。

機械系同窓会

1957 小川久二男
1957 柿木 秀輝
1957 仲田 桑男
1957 岡田 明
1958 山本 修
1959 古溝 康朗
1960 田中 正春
1961 渋谷 博明
1961 横松 壽二
1962 齊藤 四郎
1962 関谷 敷
1962 福田 忠彦
1962 藤田 邦昭
1962 宮内 保幸
1962 森川 勇
1962 吉川 和彦
1963 雨川 勉
1963 馬場 靖孝
1963 日野 岩雄
1963 宮田 健二
1964 笠原 又一
1965 小林 朗
1965 白木信二郎
1965 関谷 重彦
1965 田中 英生
1965 千賀 哲夫
1965 実川 武
1965 酒井 康雄
1965 沢野 基泰
1965 志賀 剛
1965 鈴木 肇
1965 弓削 武男
1965 尾身 幸男
1965 山崎 幸男
1966 岩本 信治
1966 本田 信之
1967 紺屋 隆
1967 辛島 敬明
1967 茂木 一男
1967 宮丸 美彦
1968 大山 正雄
1968 塙 良夫
1968 三海 勝弘
1968 滝島 正之

1968 五十嵐幸信
1968 木下 幸秀
1968 和田 進一
1969 黒田三十郎
1969 多田 庸男
1969 南 弘
1969 並木 光雄
1969 福田 末廣
1969 朝山 邦夫
1970 相原 邦男
1970 石田 英雄
1970 上田浩四郎
1970 武田 光雄
1970 藤井 政治
1970 山崎 博
1970 渡辺 文矢
1970 新井 勇
1971 有岡 光男
1971 小川 文夫
1971 縣 純治
1971 前田 道德
1971 小川 和雄
1972 水澤 久夫
1972 金井康太郎
1972 吉野 康生
1973 栗本 茂生
1973 成田 治
1973 石原 正博
1973 皆川 誠吉
1974 岡崎 孝宣
1974 守永 泰雄
1974 大野 好和
1974 甲斐 直幸
1975 植木 幸裕
1975 唐鎌 貞郎
1975 角田 悦啓
1975 飯野 和広
1976 高橋 寛仁
1976 柴田 誠
1977 磯久 毅
1977 斉藤 恭一
1977 佐藤 賢一
1977 前田 博行
1978 天野 富夫
1979 矢澤 尚彦
1980 岡尾 克彦

1980 高澤 一行
1980 羽太 勇
1980 畑 淳一
1980 平松 一義
1980 高野 優
1981 千賀 吉展
1981 早見 功
1982 太尾 健
1983 池谷 憲治
1984 片山 章
1985 水元 善章
1987 紫藤 俊郎
1989 森 正樹
1993 當麻 秀樹
1995 中村 静弘
1997 榎本 卓晃
1997 一柳 裕昭
1998 今村 聡輔
1998 白鳥 邦晃
1999 坂口 教子
2003 小平 友和
2005 大岩 久峰
2010 宮城 貴則
2010 森 健亮
2012 久保 直紀
2014 柴原 賢一
2018 千野みつき
2019 鈴木 勝太
2020 阪田 顕
匿名 14 件

化学系同窓会

1954 丹羽 宏之
1956 内田 昭二
1959 相沢 久弘
1959 関野 良雄
1959 竹内 節子
1960 荒井 弘一
1960 小熊 重男
1960 高崎 宗利
1960 若栗 徳男
1961 中尾 猛
1961 須藤喜八郎
1961 関根 新一
1962 穂本 佳能
1962 小山内 敏

1962 合田 房雄
1962 中込 孝之
1963 佐藤 俊彦
1963 馬場 進
1964 佐藤 恵子
1964 佐久間守人
1964 須田 俊男
1964 湯川 治夫
1965 井上 雅安
1965 松原 征志
1965 山崎 哲三
1966 吉川 重克
1966 渡辺 麻男
1967 徳永 正昭
1967 長島 珍男
1967 東條 博典
1968 原口 昇
1969 金子 直之
1969 西藤 敏男
1969 岩本 博行
1970 菅原 康里
1970 中山 和夫
1970 松原 進
1970 山崎 正
1971 和田 欣也
1972 秋田 彰一
1972 郡山 正二
1972 若林 貞由
1972 松村 恵司
1973 志村 豊
1973 白井 精滋
1973 浜田 康裕
1973 吉村 裕至
1974 菊川 博文
1974 水島 芳一
1975 新藤日出夫
1976 阿部 立実
1976 乾 義秀
1976 長田 誠
1976 藤田 直人
1976 宮下 一義
1977 久慈 英樹
1978 伊藤 弘之
1979 笠松 憲一
1979 森田 保
1981 広田 俊明

1981 細野 幸弘
1982 枝光 昇
1982 三浦 武
1983 畑 恭一
1984 山口 靖雄
1988 飯嶋 康順
1991 鷹野 直道
1993 島田 博文
1994 宮内 真理
1995 小池 剛
1996 山下 清次
2008 三輪 大雅
2008 藤川欽一郎
2010 樫村 昭徳
2012 小暮 裕一
2014 山田 千絵
2015 伊藤 周平
2016 塩本 昌平
匿名 5 件

電気系同窓会

1959 岩花 忠彦
1959 安井 通八
1960 河本 洋次
1960 木幡 公典
1962 小川 道雄
1962 加藤 勇
1962 佐藤 英寿
1962 鈴木 良平
1962 小林 鶴夫
1962 高田 貢
1963 齋藤 茂樹
1963 田中 昭男
1963 中島 鈴之
1963 中畑 慧
1964 石塚 良昭
1964 蔭山 洋一
1964 日吉 静男
1964 渡辺 静雄
1964 仲原 里治
1964 長嶋 秀世
1964 染谷 博
1965 小早川庸行
1965 菱田英二郎
1965 藤川 洋
1966 大塚 正男

1966 松本駿太郎
1966 小森 和雄
1967 杉原 精一
1968 遠藤 昊
1968 木下 勝博
1969 平岡 幸雄
1969 笠原 幸兵
1969 荒川 捷英
1969 岡田 清一
1969 井上 公男
1969 三好 和憲
1970 梶 孝秋
1970 来住 康弘
1970 久禮 和彦
1970 小林 啓一
1970 白鳥 敏明
1970 藤原 俊男
1970 椋田 實
1970 芳田眞喜人
1970 甘粕 一彦
1970 村木 修
1971 小野 彰
1971 中山 正博
1971 長谷川 努
1971 山岸 定男
1971 山崎 繁延
1971 仲本 隆司
1971 古沢 良夫
1972 中山 憲勝
1972 半沢 悟
1973 石北 宗一
1973 上野 耕平
1973 小沢 和重
1973 小野 幸男
1973 日谷 章
1973 渡辺 久純
1974 島林 正美
1974 大久保 清
1974 中尾 英明
1974 南部 高史
1974 平方 治
1975 小平 善光
1975 小濱健二郎
1975 徳田 博文
1975 湯川 良
1975 渡辺 隆秀

1976	高橋	信行	1966	大幡	寛	1973	坂本	俊幸	1981	小侯	光一	1981	小川	隆	1986	加藤	義彦
1977	前田	立雄	1966	平野	久雄	1973	吉田	登	1981	山根	秀明	1982	當間	裕和	1986	吉田	和弘
1977	中田	一寿	1966	矢田	和弘	1973	秋月	明	1982	鈴木	敏彦	1982	大和	勇記	1986	佐藤	利美
1978	佐藤	昌志	1966	青木喜代司		1973	島田	敏幸	1983	小林	将夫	1992	山下	清次	1988	町山	和人
1978	蒲谷	欣尚	1966	山田	雅孝	1973	高松	良幸	1985	片桐	徹	1996	岡田	正隆	1992	宮里	孝弘
1978	熊倉	強	1966	関	五郎	1973	増山	英樹	1986	不破	達生	2007	田中	元樹	1993	関田	弘美
1979	綾部	栄	1967	佐藤	亨	1973	小島	民久	1987	金子	純	匿名 7 件			1994	伊藤弘一郎	
1979	大澤滋太郎		1967	真尾	博	1973	中村	脩	1990	村島	正彦	専門学校同窓会			1994	川村	謙二
1979	中野	善司	1967	上野	光三	1974	足立	泰雄	1991	香川	浩				1995	葉山	恭徳
1979	根本	弘道	1968	内山	一郎	1974	阿保	秀紀	1991	新海	俊一	1956	小嶋	正夫	1995	佐野	克直
1979	中里	利男	1968	川相	明弘	1974	廉沢	映治	1991	渡邊	文博	1959	石川	裕倉	1997	齋藤	研吾
1980	若井	克友	1968	日下部銃五郎		1974	楠	昭	1992	表	俊博	1960	関口	守正	1999	鹿熊	弘
1980	安藤	正巳	1968	中山	亮	1974	河野	工	1992	小坂	浩一	1960	小野今朝男		2001	松井	哲司
1981	竹中	了	1968	平野	剛	1974	篠原	良	1992	土屋	和男	1961	石渡	守	2005	飯田	雅弘
1981	田中	克弘	1968	福智	正純	1974	比嘉	康夫	1994	西川	豊宏	1961	佐久間惣喜		匿名 10 件		
1983	唐崎	幸弘	1968	阿部	信夫	1974	平田	洋一	1998	熊川	輝之	1961	清水	正和	企業(代表者)		
1984	唐崎	明子	1968	伊庭	孝	1974	大島	英雄	1999	佐藤	弘規	1964	井筒	威夫			
1985	竹内	博和	1968	田口	達	1974	河合	正昭	2002	潮田	真己	1964	大野	英誠	樞司法書士事務所		
1986	松田	清	1969	芹沢	慶明	1975	高橋	孝栄	2009	山岸	梨香	1965	高橋二三男				
1986	熊坂	巧	1969	谷口	宗彦	1975	小内	實	2009	児玉	達朗	1966	小林	保弘	原アルミ工業(株)		
1987	横澤	達	1969	田野邊幸裕		1975	香西	朗	2014	清水	大地	1967	田中	良夫			
1988	山田	清	1969	友野	稔	1976	井川	潤	2018	添田	峰夫	1967	森	則雄	電 1971 原 明男		
1989	石橋	誠	1969	沼尾	俊郎	1976	井上	保夫	匿名 13 件			1968	相澤	良夫			
1991	稲葉	正	1969	小松	邦彦	1976	菊池	一雄	高校同窓会			1968	酒井	史生	建 1989 吉田 勝彦		
1992	清水	泰雅	1969	高橋	一元	1976	後藤	敏明				1968	山川	義則			
1993	勝山愼一郎		1969	坂口	周平	1976	嶋田	修	1954	中野	喬行	1968	加藤美恵子		木本商事(株)		
1995	田中	久弥	1969	初田	亨	1976	五月女元良		1958	石渡	秀夫	1968	清水	武義			
2000	菲澤	一之	1969	前田	清行	1976	竹内	茂	1958	米沢善治郎		1970	高嶋	賢一	建 1965 木本 安信		
2001	高橋	義典	1969	吉永	祐一	1976	山越	衛	1961	五十嵐 功		1970	坂本	竜爾			
2003	國定	義典	1969	木村	雅俊	1976	吉田	進	1961	鈴木	孝雄	1970	大友	幸伸	(株)NoRix		
2004	箕谷	祐也	1969	大塚	廣	1977	加藤	隆弘	1961	高木	賢治	1971	篠崎	秀夫			
2008	安藤	裕太	1970	岩瀬	栄子	1977	柴田	卓次	1962	三宅	捷夫	1972	松田	勝之	建 1972 中島 範義		
2010	坂井	直之	1970	杉山	正博	1977	八重樫義男		1964	小林	保男	1972	加藤	豊			
2011	青井	瑛	1970	辻岡	義雄	1977	谷川	一雄	1964	篠	欣克	1972	古山	正文	クリティクリエーション(株)		
2011	宇佐見健一		1970	寺田	正堯	1978	伊藤	敏	1964	鄭	雄飛	1971	鎌田	健一			
2014	長谷川健太		1970	平井	真夫	1979	内野	正之	1964	黒米	富雄	1973	田代	博之	電 1973 小沢 和重		
2020	坂井健太郎		1970	平井	章	1979	木村	雄一	1965	倉内	重耐	1972	松田	勝之			
匿名 25 件			1970	渡部	哲次	1979	高木	雅行	1967	有岡	光男	1974	近藤	松男	(株)フジサウンドテクノ		
建築系同窓会			1971	横尾	格美	1979	黛	邦男	1968	星野	明	1975	五十嵐	徹			
			1971	飯田	和夫	1979	椿	賢治	1969	若林	勝司	1976	藤田	純一	1977	島森	清
1962	谷	政美	1971	栗田	博義	1979	鳥山	富幸	1973	太田	正利	1977	井上	博明	(株)豊川設計事務所		
1962	山田	伸一	1971	渡辺	史郎	1979	花岡	栄治	1975	内野	正之	1978	大賀	信之			
1963	高岡	敏夫	1971	木村	三郎	1979	前田	卓	1975	内堀	錦吾	1980	関	裕児	(株)テクノクルー		
1963	高橋	庫治	1971	鈴木	公章	1980	石川	啓司	1975	岡安	彰	1981	上田	和幸			
1963	奥田	幸司	1972	稲葉	一明	1980	関谷	源次	1976	平松	一義	1981	竹内	満	(有)若葉林業		
1964	木村	光信	1972	濱田	昭夫	1980	知花	毅	1977	小口	俊明	1982	櫻井	良尚			
1965	沢田	洋二	1973	阿部	信義	1981	石田	秀貴	1979	大沢	有正	1985	広瀬	竜也	工藤建設(株)		
						</											

● 広告募集 ●

『あなたの会社や製品を紹介しませんか?』

本誌は、日本全国で活躍している工学院大学の卒業生を中心に、約68,000人を対象として発行しています。貴社の活動や製品・サービスを紹介してみませんか。

- ◎募集対象……………企業、組織、団体などの広告宣伝など
- ◎掲載紙 工学院大学校友会報Vol.145
- ◎発行予定日……………2024年3月
- ◎主な対象……………工学院大学、工学院大学附属高等学校の卒業生、専門学校の卒業生、卒業生のご父母、現任教員、学園関係者など
- ◎掲載料金……………第2表紙・第3表紙：¥240,000-
本文内：¥90,000-（1/2ページ）/
¥180,000-（1ページ）
- ◎募集締切り……………2024年1月15日

詳細につきましては、工学院大学校友会事務局までお問い合わせください。

● 記事募集 ●

『近況を校友会報やホームページで紹介しませんか?』

広報部では、校友のみなさまの活動を本誌やホームページを使って紹介するお手伝いをします。支部や同窓会、同期会主催のイベント案内、参加者募集や楽しかった活動の報告など、お気軽にお知らせください。

また、校友のみなさまがご執筆された書籍の紹介もいたします。詳細につきましては、工学院大学校友会事務局までお問い合わせください。



編集後記

新型コロナウイルス感染症は未だ終息しておりませんが、マスク着用については緩和が始まりました。工学院大学においては入学式・学位授与式・学園祭など様々な行事・イベントが徐々に再開されつつあります。この間で ICT リテラシーが飛躍的に向上し、オンライン形式の利点を積極的に活用する動きが進みました。校友会の諸活動も、社員総会や全国支部長会などの各種行事や会議においてもオンライン形式での開催が定着いたしました。今後は各行事等の再開が期待されます。

このように、人と人とのコミュニケーションのカタチが大きく変貌した今、校友会活動についても多様性を活かした活動の仕方を様々に取り入れ、活動範囲を拡大して行ける事と考えます。待ちに待った全国大会も無事再開され、大成功の報告を掲載することができました。

校友会報は今回より SDGs の時代に相応しく電子版にリニューアルしての発行といたしました。そして、校友各位のご支援により、何とか今年も校友会報をお届けできることとなりました。

校友会広報部は、今後も校友の皆様にとって有益な情報を、可能な限り遅延なく、また居住地に関係なくお届けするべく尽力してまいります。

最後に、本誌の発行に多大なるご支援・ご協力をいただきました学園理事長、大学学長、附属中学校・高等学校長、各同窓会長、原稿をご執筆いただいた校友各位に、この場を借りてお礼を申し上げます。

工学院大学 校友会報

vol. 144

発行日 ● 2023年3月20日
発行 ● 一般社団法人工学院大学校友会
住所 ● 〒163-8677 東京都新宿区西新宿 1-24-2
電話 ● 03-3342-2064 / 03-3340-1649
FAX ● 03-3342-2035
メール ● jimukyoku@kogakuin.or.jp

編集 ● 一般社団法人工学院大学校友会 広報部
[部長] 高木 雅行(建築)
[副部長] 平山 徹夫(専門)
[部員] 坂口 教子(機械) 浅利 信博(化学)
名取 勝敏(電気) 安宅 恵理(電気)
甘粕 一彦(電気) 新海 俊一(建築)
田中 元樹(高校)

印刷・製本 ● 株式会社五色
制作 ● 株式会社ena

工学院大学校友会のホームページはこちらから

<http://www.kogakuin-koyukai.jp/>

会員ページID・パスワード

上記のメールアドレスへ、以下の項目を記載の上、お問い合わせください。
○件名「校友会会員専用ページのID・パスワード照会」
①氏名(漢字表記) ※旧姓から変わられた方は旧姓も記載 / ②卒業区分・卒業年
③メールアドレス / ④住所 ※任意：卒業時の住所から変更となっている場合のみ